子どもの夢・未来応援事業

水谷 隼氏

講演＆交流

打ち返す力

卓球競技世界初の３種目でのメダリスト（シングルス、団体、混合ダブルス）。全日本選手権では史上初の10回優勝を達成するなどの輝かしい経験をもつアスリート。現在はTVやイベント等の出演も多く、マルチタレントとして活躍している。

9月13日、上士幌町教育委員会の主催により水谷隼氏による講演＆交流会が開催されました。本事業は、子どもの夢・未来応援事業として実施され、当日は町内の小中学生や高校生など、約４００人が集まりました。

水谷氏は卓球競技世界初の３種目でのメダリストであり、全日本選手権では史上初の10回の優勝を果たすなど、たくさんの偉業を達成された方です。

講演会では、児童生徒との質疑応答が行われ、練習で大切にしていることは何かという質問に対して、「何千本と打つ日々の練習のなかでも、一本一本を大切に打つこと。」とのアドバイスがありました。

卓球イベントでは、子どもたちとのラリー体験などが行われたほか、全日本卓球選手権大会で水谷氏とペアで男子ダブルスに優勝した経歴をもつ吉田雅己選手も登場してエキシビジョンマッチが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

上士幌中学校卓球部３年の新津さんは水谷氏との対戦を通して「レベルの高さに驚いた。自身の進路を考える上でも、ひとつのきっかけになったと思う。」と振り返りました。

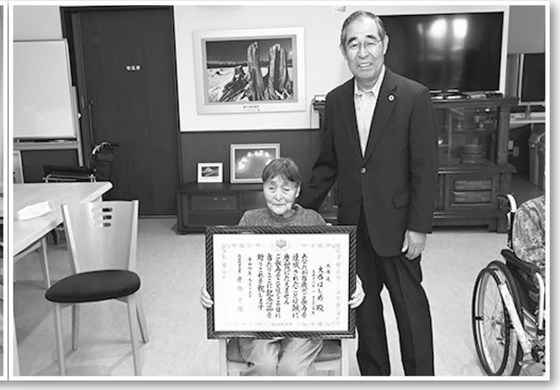
※本事業はふるさと納税寄付金を財源に活用して実施されています。

10/1 上中文化祭

10/9 町民マラソン大会

9・10月の まちのわだい

8・9月のまちのわだい



▲10月６日、上士幌中学校で小堀教育長による、世界の環境問題を考えるSDGs講話が行われました。

▲10月16日、北海道警察音楽隊&カラーガード隊と、上中・上高吹奏楽部による合同コンサートが山村開発センターで開催されました。

9/20 これからもお元気で
６名の方が満100歳を迎え、お祝いしました

９月20日、満100歳を迎えるお祝いとして、馬場ヨシ子さん（写真左上）、坂田ヨシノさん（写真右上）、今村よし子さん（写真左下）、大西はしめさん（写真右下）、足立梅子さん、その他１名の方の合計６名に、内閣総理大臣から記念品が贈呈されました。

皆さまこれからも健やかにお過ごしください。

9/7 ストップ！不法投棄！
ひがし大雪クリーン作戦

大雪山国立公園内での不法投棄防止に向けた啓発活動「ひがし大雪クリーン作戦」が９月７日、道の駅かみしほろにて実施されました。

同公園内では、ドライバーによる駐車帯へのごみのポイ捨てが多いことを受け、帯広警察署が上士幌町役場、帯広開発建設部足寄道路事務所などの団体に呼びかけ、署員と職員合わせて12名で「不法投棄禁止」の啓発をポケットティッシュ、缶バッチを配布しながら行いました。

9/21 交通事故に遭わないために
高齢者交通安全教室

９月21日、生涯学習センターわっかにおいて、高齢者交通安全教室が行われました。

教室には58名の方が参加し、交通安全講話が行われたほか、踏み間違い防止装置の体験や自動ブレーキ搭載車の試乗体験なども行われ、参加者は交通ルールやマナーを改めて学んでいる様子でした。

自動ブレーキ搭載車の試乗を体験した参加者からは、「こういうの（自動ブレーキ）が付いていたら安心。」「自動で止まるので驚いた。」など話していました。

9/25 一日限定の販売会！
無印良品移動販売会が開催

にっぽうの家上士幌において、無印良品が９月25日の一日限定で販売会を行いました。この販売会は㈱良品計画が主催し、町とにっぽうの家を運営する㈱スパイスボックスの共催で実施したものです。

当日は町内外からたくさんの来場客でにぎわい、人気のレトルトカレーや生活雑貨、お菓子など買い物を楽しんでいる様子でした。

来場客は、「無印良品の商品を、実際に手に取ってみることができて嬉しい。」と感想を語りました。

9/28 上士幌神社で清掃活動
商工会青年部”絆“感謝運動

今年も商工会青年部では全国統一事業「“絆”感謝運動」を実施し、町内の清掃活動を行いました。

当日は商工会青年部やOB会など約20名が参加し、上士幌神社周辺や総林寺方面道道沿いなどの清掃を行いました。

商工会青年部の二瓶部長からは、「これまで休日に行っていたイベントだが、今回は平日の早朝に実施することとした。朝早くにも関わらず沢山の参加を頂き感謝したい。」と述べました。

9/28 上士幌高等学校吹奏楽部

全道大会に出場

10月５日から６日にかけて苫小牧市で開催される全道高等学校音楽発表大会の吹奏楽部門に出場する上士幌高等学校吹奏楽部に教育長が訪問しました。

有賀部長からは、「実力的にもまだまだ足りないところがあるが、自分たちなりに楽しんで演奏したい。沢山の方に応援されていると自覚をもって頑張りたい。」と決意を述べ、教育長は「吹奏楽は音を通してみんなに元気を与えてくれる。ぜひ一人ひとりがいい音を出して頑張ってほしい。」と激励しました。

10/4 高校生とも対戦

新津さん・石井さん全道大会

10月14日から16日に旭川市で開催される、2022年度北海道卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）に出場する、上士幌中学校女子卓球部３年の新津愛理さん、１年の石井愛菜さんが教育長を訪問し、大会への想いを話しました。

新津さんは、「全国へ繋がる大会はこれが最後。全てを出し切って全力で頑張りたい。」と決意を述べ、石井さんは「全道レベルの高校生のプレイを直にみることができる。しっかり勉強したい。」と語りました。

10/5 たくさんの中学生が参加しました

上士幌高等学校体験入学

10月５日、上士幌高等学校で体験入学が実施されました。今年は例年の倍以上、90名を超える参加者が集まり、教職員や上高振興会、ほろんちゃんらが歓迎しました。

校長先生の挨拶ののち、学校紹介や部活動紹介などが行われ、中学３年生の生徒たちは自分の進路について真剣に考えている様子でした。また、体験授業では上士幌学や化学、英語の授業が行われ、一足早く高校の授業の雰囲気を体験していました。

10/7 自慢のじゃがいもを召し上がれ

ＪＡ青年部じゃがいも寄贈

JA青年部畑作部会様から、学校給食用にじゃがいも約100kgを寄贈いただきました。今回寄贈いただいたじゃがいもはキタヒメという品種で、11月からカレーライスやポトフなどで提供される予定です。

JA青年部畑作部会長の増田さんは、「一生懸命収穫したいもなので、子どもたちにはおいしく食べてほしい。」と話し、教育長は「地域の食材を給食で食べることを通して、食べ物の大切さや作物が成長していく過程など、食育のきっかけになれば。」と話しました。

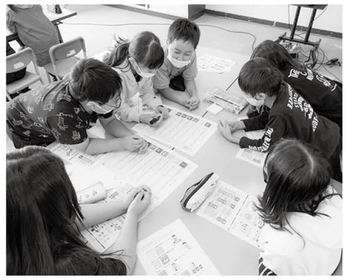
上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ゼロカーボン推進プロジェクトチームを発足しました！

９月14日、本町におけるゼロカーボンの推進に向け、まちの将来を担う若者で構成するプロジェクトチームを立ち上げました。メンバーは、「若者・多様性・ジェンダー平等」の観点から20代中心。商工・農業・金融・福祉・観光・学校関係者、役場職員など多様な分野の方にご参画いただき、男女比も配慮した構成としています。

今後は、環境をはじめ、SDGsを意識した行動への変容を促すため、行動による寄与・貢献度の見える化やポイント付与制度の構築など、具体的な検討を進めていく予定です。

上士幌小学校でのSDGs授業をスタートしました！



９月15日、昨年度に引き続き、小学５年生を対象としたSDGs授業をスタートしました。来年３月までの30時間の授業において、世界や日本、上士幌の現状や取組を学びながら、SDGsの各目標において自分たちでできることを見つけていきます。

東京のイベントに出典し、本町が進めるSDGsをPRしてきました！

９月23日から25日の３日間、東京ビッグサイトで開催されたSDGsマーケットに出展しました。商工会や上士幌町交流と居住を促進する会との連携のもと、十勝ハーブ牛や蜂蜜の販売、移住相談対応のほか、SDGsやゼロカーボン推進に向けた取り組みの紹介を行いました。

イベント会場には、延べ19,000人が来場し、上士幌ブースにも各日1,000人程度お越しいただき、多くの方に本町の魅力や取り組みを伝えることができました。

令和4年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No.55
令和 4 年
10月25日

Highschool

TITLE：地域での学び

９月15･16日の２日間、町内や管内の事業所で、昨年は実施できなかった職場体験実習を２年生が行いました。53名の生徒が37の事業所での実習を通じて「働くこと」や「働く人の視点」で考えを深める良い機会になりました。アルバイトをしている生徒も、普段とは違う経験をすることで職種や職場の違いで得たものがあったと思います。

また10月７日には、その経験を事業所の方々に伝える「職場体験実習報告会」を実施しました。動画やスライドを使って分かりやすく伝えられるよう、短い期間でしたが準備を重ね、当日は多くの方に来ていただきました。

このような機会が持てて本当に良かったと実感したと同時に、今後も地域の方々に高校の活動を知っていただける機会ができたらと思います。

△上士幌中学校で実習する２年生女子

△川村組での実習について発表する2年生男子

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

高大連携授業で野生動物の生態調査 その２

文責 新聞局顧問 山形 剛

先月お伝えした生態調査の続報です。自動撮影カメラに何が写っているのかを確認する授業がありました。３年生が大学生とともに設置したカメラの記録をパソコン上で再生したところ、全てのカメラが何らかの動物が横切ったりする様子を捉えていて、あちこちで「あっ何かいる！」「目が光ってる！動いた！」と声が上がっていました。

次は畜大生の力も借りてそれが何であるのかを特定する作業に入ります。エゾリスが一番多く写っていましたが、エゾタヌキ、エゾキツネ、エゾシカの個体もありました。深夜の防風林は野生動物が行き来する場所でした。最後は畜大の浅利准教授からまとめの講義があり、生徒たちの表情には科学的な調査の一端に触れた充実感が見られました。

△暗闇で何かが動く様子をじっと見つめています

△２人の大学生と高校生で動物の特定をしています

△今回の調査について浅利先生がまとめてくれました

Kamishihoro

町民文芸

短歌

ときをりを尻尾あそばせ眠りゐる猫と過ごせり曇りの午後を　本間栞風

外灯は路面照して更けゐたる夜明の三時誰れも来たらず

グレーヘアわがものとなしファッションを楽しむ今日はカチューシャを付け　尾野よし乃

秋の風涼しき中を草取りに出掛けし花壇は花盛りなり　鈴木豊

ＪＡの仕事も入る秋深く花壇の花に心癒さる

朝寒くなりたる中を送迎の車に乗りてけさも出かける　中村仁志

朝起きて支度をしつつふと思う寝惚けしゆえかもう帰りたい　高木誠也

最近は部屋の片付け取り組んで冬まで綺麗になれればいいな　堀籠錦之介

秋深き国道の花壇花ざかり手入れをしたる甲斐のありたり　米森真弓

秋の山カメラを持参し散策す素敵な写真を沢山得たり　小松義美

夢あれど現実遠く希望なく進みし我は日々流されり　中濵夏希

この秋の物価上昇著し節電節油を夫と話しぬ　松田理恵

石川裕子

編集後記

➲ 私事ですが、親知らずを抜きました。上側2本は昔スポっと抜いたのですが、下側2本は真横に生えており、根っこ?が神経と血管がどうのこうのでやっかいな感じらしく、ずーっと見て見ぬふりをしていたのですが、いよいよ年貢の納め時ということです。自分の口の中で、バキバキと音を立てて取り外されていくあの体験を思い出すたびに、とても悲しい気持ちになるのです。しかし、逆サイドの抜歯が本誌が発行される前日にやっているハズですので、この地獄はもう少し続きます。…T

広報かみしほろ 12月号は11月25日(金) 発行予定

戸籍の窓口

令和４年 ９ 月末現在の 人口

男　性	2,423人(+6人)
女　性	2,498人(−5人)
人　口	4,921人(+1人)
世帯数	2,611世帯(+4世帯)

令和 4 年度 ふるさと納税寄付金

9 月分	4,849 件
	72,685,000 円
累計	24,437 件
	366,469,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※ 10月11日現在

寄　付 (10/13まで)

➲９月20日、NPO法人上士幌コンシェルジュ様が、「噂の大人の珈喱まん」360個を認定こども園に寄付されました。

➲９月27日、有限会社加藤農場様が、「加藤農場大地のコロッケ（インカのめざめ）」210個を認定こども園に寄付されました。

➲10月３日、明治安田生命保険相互会社様が、福祉の振興のため10万４千５百円を寄付されました。